

## 役員退任のご挨拶

前監事

中村 興治



私は平成19年3月10日に開催された第127回定時代議員会において空知ブロックの推挙を受けて北海道医師会監事に就任しました。北大耳鼻科同門の先輩でありこの代議員会を最後に退任された飯塚 弘前北海道医師会長に「中村、監事は印鑑を押すのが仕事ではないぞ。北海道医師会をしっかり監事なさい」と言われこれは荷が重い仕事になると認識いたしました。

4期8年間監事を務めて参りましたがこの8年間で少し振り返ってみますと平成20年7月、北海道洞爺湖サミットが開催され北海道医師会も道と協力して救急体制整備等で対応を迫られました。平成21年8月、民主党政権が誕生し仕分け作業なるものが公開で行われ医療関係者にも大きな反響を呼び医療の行く末がどうなるのかと不安を感じた先生も多かったと思います。そして忘れもしない平成23年3月11日東日本大震災とこれに伴う福島第一原子力発電所

事故という未曾有の大災害が発生し被災地の住民、医療機関・医療提供者にも多大な被害が発生し大災害時の医療提供側の責任とその対応について多くの教訓を残しました。一方、平成22年、鈴木章北大名誉教授、平成24年には山中伸弥京都大教授がそれぞれノーベル化学賞、生理学・医学賞を受賞し久々に国民の心に明るさと日本人の誇りを蘇らせてくれました。

このような時の流れの中で私は長瀬会長の下で監事として常任理事会、理事会、郡市医師会長協議会、定時および臨時代議員会に出席し監事の職務として理事の職務の執行等を監査し、本会の業務および財産の状況に関して監査・調査を行いました。監事として意見を具申する機会はありませんでした。このことは北海道医師会が道民の健康を守り北海道医師会会員のためにその役割を十分に果し、また北海道その他の関連団体とも良好な関係を維持してきたことを意味していると思います。

少子・超高齢社会を迎えた現在、北海道医師会は地域医療構想の策定、医師の偏在、勤務医・女性医師の勤務環境の改善、新たな専門医制度、医療事故調査制度、マイナンバー制度等多岐にわたる課題が山積していますが長瀬会長以下役員、理事諸兄、事務局職員の皆さんには全力をもってこれらに迅速に対応され道民、会員のためにさらなる指導力を発揮されんことを心から期待して退任の挨拶といたします。

## お知らせ

### 「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼について

◇救急医療部◇

当会ホームページでは急病・急な症状時の対応を紹介する「応急手当WEB」、救急医療機関の適切な利用について理解を深めてもらう「救急医療啓発パンフレット」を掲載しております。

これらの情報をより一層周知することにご協力いただけます医療機関におかれましては、自院ホームページに下記掲載URLへのリンクをお願いいたします。

なお、リンク掲載後のご連絡は不要ですが、今後の連携強化のため、リンクのご一報をいただければ幸いです。

#### ●応急手当WEB

<http://www.hokkaido.med.or.jp/firstaid/>

#### ●救急医療啓発パンフレット

<http://www.hokkaido.med.or.jp/hokkaido/ambulance.html>

連絡先：北海道医師会事業第二課

TEL 011-231-1725 FAX 011-210-4514 E-mail 2ka@m.douji.jp